

第 9 章 環 境 部

[環 境 部]

1. 環境保全対策

秋田市環境基本計画に基づき、環境施策を総合的かつ計画的に実施するほか、秋田市地球温暖化対策実行計画に基づき、地球温暖化対策を総合的に推進し、市域の温室効果ガス排出量の削減を図る。

また、環境関係法令や主要企業と締結している公害防止協定などの適正な運用により、環境汚染物質や騒音等の低減を図り、市民の健康の保護と生活環境の保全に努めるとともに、自然環境の保全対策を推進する。

(1) 環境基本計画の推進 (予算額 439千円)

令和5年3月に改定した秋田市環境基本計画の進捗管理を行い、環境施策の実施状況等を取りまとめ、年次報告書を作成・公表する。また、次期環境基本計画の令和9年度策定に向けた基礎資料とするため、市民、事業者および環境関連活動団体を対象に環境に関する意識調査を実施する。

(2) 地球温暖化対策の推進 (予算額 1,782千円)

家庭における環境配慮の取組や、省エネルギー、再生可能エネルギー等について市民に広く情報発信するほか、事業者との情報交流のための各種説明会等を開催し、日常活動や事業活動に伴う温室効果ガスの排出削減を図るなど、市民や事業者に対し、地球温暖化防止のための啓発や支援を積極的に行う。

また、「秋田市役所環境配慮行動計画」および「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（省エネ法）」に基づく取組を着実に推進し、市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出量を削減する。

(3) 再生可能エネルギー発電事業 (予算額 73,844千円)

再生可能エネルギー導入の促進と温室効果ガスの削減を図るため、秋田市総合環境センター最終処分場跡地において民間事業者との包括的施設リース契約によるメガソーラー事業を継続して実施する。また、汚泥再生処理センター敷地内において、第三者所有モデルによる無償設置型太陽光発電事業を継続して実施する。

(4) 次世代エネルギーパーク運営経費 (予算額 4,801千円)

市内の多様な新エネルギー施設等を気軽に見学できる体制を市が整備し、市内外からの見学者を受け入れることで、地球温暖化対策やエネルギー政策に関する理解と関心を高め、環境意識の醸成などを図る。

(5) 地域E S C O事業 (予算額 8,316千円)

平成24年度に省エネルギー改修等を行った秋田テルサ、サンライフ秋田、保健センターおよび山王中学校の市有4施設についてE S C Oサービスを継続して実施する。

(6) 有害化学物質対策等の推進 (予算額 9,920千円)

大気、水質、土壌などの環境中のダイオキシン類の常時監視を実施する。また、環境大気中のアスベスト濃度調査および環境基準が定められているベンゼンなどの有害大気汚染物質等のモニタリングを実施する。

(7) 環境保全対策の推進 (予算額 72,013千円)

環境関係法令や公害防止協定等に基づき、工場・事業場に対する指導・立入検査等を行うとともに、大気、水質、騒音等の調査を実施し、ホームページ、年次報告書等により情報の提供に努める。また、大気、水質、騒音等の公害苦情について、発生源への指導や当事者間での話合いの仲介等により早期解決に努める。

ア 公害防止協定および環境保全協定（ゴルフ場） (令和8年4月1日現在)

(7) 日本製紙(株)秋田工場	昭和45年5月21日	令和5年8月22日（最終改正）
(イ) 秋田製錬(株)	昭和45年12月28日	令和7年8月1日（最終改正）
(ロ) 秋田住友ベーク(株)	昭和49年8月1日	平成26年12月24日（最終改正）
(エ) アルフレッサファインケミカル(株)	昭和52年9月12日	令和5年3月10日（最終改正）
(カ) T i a n m a J a p a n (株)	平成2年10月19日	令和元年5月16日（最終改正）
(キ) (株)ホクエツ	平成7年9月29日	

(キ) ㈱三井光機製作所秋田工場	平成3年7月1日	令和7年3月28日（最終改正）
(ク) 有BMJ 河辺処理センター	平成16年10月26日	
(ケ) 秋田観光開発㈱	平成4年9月1日	平成22年3月1日（最終改正）
(コ) ㈱南秋田カントリークラブ	平成4年9月1日	平成22年3月1日（最終改正）
(サ) 太平山総合開発㈱	平成4年9月1日	平成22年3月1日（最終改正）
(シ) (公財)秋田市総合振興公社	平成5年6月1日	平成22年3月1日（最終改正）
(ス) ㈱松美造園建設工業	平成5年6月1日	平成29年4月1日（地位承継）
(セ) ㈱秋田椿台ゴルフクラブ	平成5年3月30日	平成22年3月1日（最終改正）

イ 公害関係苦情受付状況

単位：件

年度 種類	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7
大 気 汚 染	22	22	36	51	21	18	17	16	16	26
水 質 汚 濁	3	4	4	3	0	0	2	1	1	0
騒 音	33	24	21	23	29	29	27	14	15	17
振 動	1	2	1	1	3	4	0	2	3	4
悪 臭	19	17	21	21	24	13	13	16	17	10
そ の 他	10	7	4	1	0	3	2	6	0	0
計	88	76	87	100	77	67	61	55	52	57

(8) 自然環境保全・環境学習の推進 (予算額 3,627千円)

自然環境保全を推進するため、市民活動計画の認定団体を支援するほか、市内の自然環境調査を実施する。
また、環境学習を推進するため、小学校などでの環境学習講座や市民向けの環境教室を開催するほか、環境学習副読本を作成し、市内の全ての小学校に配布する。

(9) 自然環境保全・体験支援事業 (予算額 652千円)

自然環境の保全活動や自然体験教室等を開催する市民団体を支援することで、自然環境保全活動の活性化と市民の自然環境の保全意識の向上を図る。

2. 清掃事業（ごみ、し尿）

(1) 一般廃棄物処理計画人口（令和8年3月31日現在 住民基本台帳）

区 分		人 口（人）
住 民 基 本 台 帳 人 口		287,738
ご み 計 画 収 集 人 口		287,738
し尿処理人口内訳	し尿くみ取り人口	7,445
	公 共 下 水 道 人 口	254,218
	農 業 集 落 排 水 人 口	2,953
	浄 化 槽 人 口	23,122

(2) ごみ処理事業

市全域を対象に、家庭から町内の集積所に出されたごみの収集運搬・処理を行っており、「粗大ごみ」については、申込みにより戸別収集している。事業所から出るごみは、事業者が市で許可した業者に収集運搬を依頼するか又は自ら処理施設に直接搬入する。

ア ごみの分別区分

（令和8年4月1日現在）

区 分		収集回数	収 集 方 法	収 集 形 態
家 庭 ぐ む		週 2 回	・ステーション方式 6,774か所	・委託51台 秋田協同清掃(株) 11台 大洋ビル管理(株) 9台 (有)協伸産業 9台 秋田清掃事業協同組合 10台 (株)河辺清掃社 3台 (協)秋田クリーン 9台
資 源 化 物	金 属 類	月 1 回 (水)		・委託 (公財)秋田市総合振興公社 8台
	ペ ッ ト ボ ト ル	月 2 回 (水)		
	空 き び ん	月 2 回		・委託 (公財)秋田市総合振興公社 5台
	ガ ス ・ ス プ レ ー 缶	月 2 回		
	空 き 缶	月 2 回		・古紙回収 協同組合秋田古紙回収協会 11台
	使 用 済 み 乾 電 池	月 2 回		
	古 紙	月 2 回		・直営（一時保管施設まで） 2台
	使 用 済 み 小 型 家 電	随 時	・拠点方式（市内47か所）	
粗 大 ぐ む		申込み制	・戸別方式	・委託 (公財)秋田市総合振興公社 3台
水 銀 含 有 ぐ む		月 2 回	・ステーション方式 6,774か所	・委託 (公財)秋田市総合振興公社 8台

イ ごみ排出量

単位：t

区分 \ 年度		3	4	5	6	7
家庭ごみ等	委託	56,441	54,722	52,453	50,655	49,335
	許可	29,964	29,511	29,296	28,433	27,862
	直接搬入	4,319	4,457	4,670	4,644	4,653
	小計	90,724	88,690	86,419	83,732	81,850
粗大ごみ	委託	605	552	496	490	446
	許可	655	696	696	755	730
	直接搬入	2,905	2,931	2,750	2,612	2,618
	小計	4,165	4,179	3,942	3,857	3,794
資源化物	委託	4,761	4,632	4,358	4,176	3,959
	その他	8,588	8,520	7,720	7,226	6,880
	許可	452	490	510	505	467
	直接搬入	30	29	24	26	25
	小計	13,831	13,671	12,612	11,933	11,331
水銀	委託	15	14	13	12	12
公共系ごみ		1,349	1,254	1,460	985	895
総量	委託	61,822	59,920	57,320	55,333	53,752
	その他	8,588	8,520	7,720	7,226	6,880
	許可	31,071	30,697	30,502	29,693	29,059
	直接搬入 (公共系ごみ含む)	8,603	8,671	8,904	8,267	8,191
	合計	110,084	107,808	104,446	100,519	97,882

※端数処理により数値が合わない場合がある。

ウ 資源化物処理実績（総合振興公社分）

単位：t

区分 \ 年度		3	4	5	6	7
空きびん		2,028	2,004	1,968	1,900	1,775
空き缶		828	806	726	696	638
ペットボトル		997	1,026	1,042	984	1,027
使用済み乾電池		17	15	15	20	15
ガス・スプレー缶		5	22	22	19	16
計		3,875	3,873	3,772	3,618	3,471

※端数処理により数値が合わない場合がある。

エ 集団回収実績（１月から12月までの実績）

単位：t

品目 \ 年	3	4	5	6	7
古紙	2,864.6	2,797.3	2,565.4	2,460.2	2,294.9
空き缶	50.4	53.1	55.6	62.2	61.7
空きびん	2.8	2.8	2.7	2.2	1.2
古繊維	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2,917.8	2,853.3	2,623.7	2,524.6	2,357.7

※びんの重量は、1本の平均重量を0.7kgとして推計した。

※端数処理により数値が合わない場合がある。

オ 集団回収奨励金交付実績

項目 \ 年	3	4	5	6	7
交付団体数（団体）	548	547	554	547	531
延べ実施回数（回）	5,718	5,733	5,753	5,738	5,684
奨励金対象回収量（t）	2,918	2,853	2,623	2,524	2,357
奨励金交付額（千円）	12,540	12,780	12,188	11,048	8,860

カ ごみ処理手数料

区分	単位	金額	施行期日
家庭ごみ（おむつ、刈草、落葉およびせん定枝を除く）	指定袋容量 1リットル	0.4円 (1円)	令和8年7月1日～ (平成24年7月1日～ 令和8年6月30日)
搬入された一般廃棄物	※10キログラム	117円	令和元年10月1日～

※廃棄物が10kg未満であるとき、又は10kg未満の端数があるときは、10kgとして計算するものとする。

キ 主な施策

(7) プラスチック分別収集市場調査経費

(予算額 4,023千円)

令和17年度のプラスチックごみ分別収集開始を目指し、事業実施における課題や参入業者などを調査し、事業化を検討する。

(4) 不法投棄対策経費

(予算額 4,765千円)

職員又は不法投棄監視員によるパトロールの実施および監視カメラの活用等により、不法投棄の防止に努めるとともに、早期の原状回復が図られるよう指導を行う。

(7) ごみ減量・再資源化促進事業

(予算額 11,247千円)

食品ロス実態調査の実施や、家庭ごみに混入している資源化できる紙の再資源化に関する取組、各種市民団体が実施する資源集団回収への奨励金交付等により、ごみ減量とリサイクルを促進する。

(エ) 粗大ごみ戸別収集事業

(予算額 58,905千円)

高齢化への対応やごみ減量対策の一環として、申込み（電話又はオンライン）による戸別収集を実施する。

(ハ) ごみ集積所巡回事業

(予算額 1,844千円)

ごみ集積所における収集後の排出、資源化物の抜取り、不適正排出などに対処するため、巡回による調査・指導を行う。

(カ) 家庭ごみ処理手数料収納管理関連経費

(予算額 44,549千円)

家庭ごみ用指定袋の小売登録事業者および卸売登録事業者から、指定袋の受注、発注および納品の数量報告を受け、数量の把握、ごみ処理手数料の収納事務等を行う。

- (イ) ごみ集積所設置費補助事業 (予算額 5,161千円)
 ごみ集積所の収集箱等の設置や修繕および被せネットの購入等に係る経費を補助し、町内会等の負担軽減を図る。
- (ロ) 新ごみ処理施設整備基本計画策定等経費 (予算額 193,600千円)
 令和17年度の新ごみ処理施設の稼働開始および8市町村による広域処理を目指し、令和8年度から測量・地質調査を含む基礎調査の実施および基本計画策定等に着手する。
- (ハ) 一般廃棄物処理施設整備基金積立金 (予算額 118,330千円)
 家庭ごみに係るごみ処理手数料の歳入の総額に相当する額のおおむね2分の1について、処理施設の整備等の関連事業に要する経費へ充てるための基金に積立する。
- (ニ) 廃棄物発電事業 (予算額 225,815千円)
 廃棄物発電によって生じた余剰電力を電気事業者へ売却する。
- (3) し尿処理事業
 し尿の収集業務は一般廃棄物収集運搬業の許可を受けている6業者を地域割りし、秋田地域の一般家庭のし尿については原則として月1回の定期収集を行っている。

ア し尿処理実績

単位：kL

年度 項目	2	3	4	5	6	7
し尿	13,664	13,039	12,562	12,161	11,193	10,846
浄化槽汚泥	20,904	20,715	20,587	19,716	18,392	18,113
合計	34,568	33,754	33,149	31,877	29,585	28,959

イ し尿くみ取り料金

(令和7年10月1日から適用)

取扱区分	単 位	し尿くみ取り料金	
		秋 田 地 域	河 辺 ・ 雄 和 地 域
定 額 制	一人につき月額（1歳未満を除く）	746円	—
従 量 制	180ℓまで	2,928円	
	180ℓを超える180ごとに	292円	

※上記料金は「秋田市し尿くみ取りに関する指導要綱」において行政指導しているもの。秋田地域は一般世帯には定額制を適用し、事業所等又は定額制により難しいものには従量制を適用する。河辺・雄和地域は従量制を適用する。定額制における世帯構成員は、前月の初日現在の人員（年齢1歳に満たないものを除く）とする。

(4) 浄化槽

ア 浄化槽保守点検業者登録件数（令和7年度）

単位：件

新規		更新		抹消
申請	登録	申請	登録	
0	0	5	3	0

イ 浄化槽設置届出件数（令和7年度）

単位：件

人槽	～10	11～20	21～50	51～ 100	101～ 200	201～ 300	301～ 500	501～ 1,000	1,001～ 2,000	2,001～
合計	29	16	3	5	4	0	1	0	0	0

(5) 一般廃棄物処理施設一覧表

令和8年4月作成

施設名称		総合環境センター	
分類		ごみ処理施設（溶融施設）	ごみ処理施設（前処理破碎施設）
所在地		河辺豊成字虚空蔵大台滝1番地1	同 左
着工		平成10年9月 (増強) 平成21年10月	同 左
竣工		平成14年3月 (増強) 平成24年3月	同 左
敷地面積		432,000.00m ²	左に含む
建築面積		工場棟他 9,784m ² 管理棟 1,399m ² (増強) 用役棟 310m ²	左に含む
延床面積		工場棟他 25,896m ² 管理棟 2,830m ² (増強) 用役棟 620m ²	左に含む
建物構造		RC・SRC・S 地上6階地下1階 (増強) 用役棟 RC 2階	左に含む
プラントメーカー		新日本製鐵(株) (増強) 日鉄エンジニアリング(株)	同 左
処理方式		全連続直接高温溶融炉 (シャフト炉式ガス化溶融炉)	2軸剪断式
公称能力		460 t / 日 (230 t / 日 × 2 基)	10 t / 5 h
建設費		20,462,582千円 (増強) 4,966,500千円	左に含む
財源内訳	国庫補助	6,927,415千円 (増強) 996,394千円	左に含む
	起債	12,029,200千円 (増強) 2,976,200千円	左に含む
	一般財源	1,505,967千円 (増強) 993,906千円	左に含む
	その他	— —	—

※表中の（増強）とは、処理能力増強等工事の略。

施 設 名 称		総 合 環 境 セ ン タ ー	
分	類	リサイクルプラザ (再資源化施設)	第2リサイクルプラザ (金属回収施設)
所	在 地	秋田市河辺豊成 字虚空蔵大台滝1番地1	秋田市河辺豊成 字虚空蔵大台滝1番地3
着	工	平成9年9月	平成16年10月
竣	工	平成11年3月	平成18年9月
敷	地 面 積	総合環境センター敷地に含む	同左
建	築 面 積	2,551.84m ²	2,034.61m ²
延	床 面 積	5,062.13m ²	3,013.38m ²
建	物 構 造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート3階建	鉄骨造一部 鉄骨鉄筋コンクリート4階建
プラントメーカー		三菱重工業(株)	日鉄エンジニアリング(株)
処	理 方 式	(空きびん) : 手選別 (空き缶) : 磁選機、 アルミ選別機、 圧縮機 (ペットボトル) : 圧縮機	(粗大ごみ、金属類) 二軸剪断破砕 + 縦型回転破砕 + 機械選別
公	称 能 力	(空きびん) : 36 t / 5 h (空き缶) : 28 t / 5 h (ペットボトル) : 10 t / 5 h	32 t / 5 h
建 設 費		1,946,500千円	1,614,400千円
財 源 内 訳	国庫補助	973,250千円	387,325千円
	起 債	924,500千円	1,210,500千円
	一 般 財 源	48,750千円	16,575千円
	そ の 他	—	—

施設名称		総合環境センター	
分	類	最終処分場	
所	在	秋田市河辺豊成字虚空蔵大台滝地内	
開	設	年	月
		旧埋立地 昭和42年11月 新埋立地 昭和54年4月	
埋	立	期	間
		旧埋立地 昭和42年～平成元年 新埋立地 昭和54年～	
埋	立	地	面
		旧埋立地 297,000m ² 新埋立地 191,000m ²	
埋	立	地	有
		旧埋立地 150,000m ² 新埋立地 97,000m ²	
埋	立	容	量
		旧埋立地 2,270,000m ³ 新埋立地 1,500,000m ³	
処分場の分類		管理型	
浸出水処理方法		旧埋立地 除鉄処理＋砂ろ過 新埋立地 Ca除去＋標準活性汚泥法＋凝集沈殿法＋砂ろ過	
浸出水処理能力		旧埋立地 900m ³ ／日 新埋立地 1,100m ³ ／日	
処理水質		B O D 20mg／ℓ以下 C O D 30mg／ℓ以下 S S 10mg／ℓ以下 D X N 10pg-TEQ／ℓ以下	
建設費		一期工事（S52～S53） 720,082千円 二期工事（H13～H15） 2,366,250千円	
財 源 内 訳	国庫補助	一期工事 215,746千円 二期工事 239,098千円	
	起債	一期工事 473,800千円 二期工事 1,944,800千円	
	一般財源	一期工事 30,536千円 二期工事 182,352千円	
	その他	—	

※DXNとは、ダイオキシン類を表す。

施 設 名 称		汚 泥 再 生 処 理 セ ン タ ー
分 類		し 尿 処 理 施 設 (175kℓ／日)
所 在 地		秋田市向浜一丁目13番 1 号
着 工		平成23年 9 月
竣 工		平成25年 1 月
敷 地 面 積		45,835.55m ²
建 築 面 積		2,752.30m ²
延 床 面 積		4,543.52m ²
建 物 構 造		鉄筋コンクリート 3 階建地下 1 階
プラントメーカー		水ing(株)
処 理 方 式		固液分離・希釈放流方式
公 称 能 力		175kℓ／日
建 設 費		860,710千円
財 源 内 訳	国 庫 補 助	231,605千円
	起 債	541,200千円
	一 般 財 源	87,905千円
	そ の 他	—

3. 産業廃棄物

令和7年度実績 申請件数 26件 許可等件数 22件

単位：件

種 類	新 規		更 新		変 更		譲受・借受		合併・分割	
	申請	許可	申請	許可	申請	許可	申請	許可	申請	許可
産業廃棄物収集運搬業	0	0	7	7	0	0	－	－	－	－
特別管理産業廃棄物 収集運搬業	0	0	1	1	0	0	－	－	－	－
産業廃棄物処分業	0	0	9	8	1	1	－	－	－	－
特別管理産業廃棄物 処分業	0	0	3	3	1	1	－	－	－	－
産業廃棄物 処理施設設置	3	1	－	－	0	0	0	0	0	0
一般廃棄物 処理施設設置	1	0	－	－	0	0	0	0	0	0
二以上の事業者による産業 廃棄物処理に係る特例認定	0	0	－	－	0	0	－	－	－	－
合 計	4	1	20	19	2	2	0	0	0	0

※申請件数と許可件数については、不許可となる場合や審査期間の関係から同一年度で終了しない
場合があるため、必ずしも一致しない。

